



新企画

2023

2/8水

13:00~17:00

銀行員はここを見ている！ 企業の危険シグナル

倒産事例に学ぶ！ 安定経営のための財務戦略

～キャッシュフロー経営の重要性～

講師

りそな総合研究所(株) コンサルタント

おなわ けんいち
尾縄 健一

【略歴】1990年立命館大学卒業後、大阪銀行入行。2012年融資リレーション部に配属後、戦略融資部の担当部長、融資コンサルティング部の融資管理室長を歴任し、事業再生・債権回収業務に携わる。2020年りそな総合研究所入社。現在は事業再生案件を中心にコンサルティングを行っている。

【会場】アットビジネスセンター心斎橋駅前

特色

講師自身が実体験として経験した倒産事案を基に、倒産直前の財務内容を分かりやすく解説します。財務面、キャッシュフローから倒産の予兆を学んでいただき、業種別に決算書の勘所を探っていきます。個人ワークを通してキャッシュフローの重要性を分かり易く解説します。危機管理を身に付けて頂き、貴社の決算分析、財務戦略構築に役立ててください。

カリキュラム

※録音・録画はご遠慮下さい。

1. 倒産とは（倒産で起こること）

- (1)倒産の種類～法的整理と私的整理～（言葉の整理）
- (2)倒産に至ったケースについての解説
- (3)倒産によって引き起こされる事象の解説

2. 倒産原因分析

- (1)倒産（破産）会社の決算書を見よう
- (2)数字で見る倒産（破産）原因の分析
- (3)倒産に至るまでの融資額の圧縮など金融機関の対応について

3. 経常収支比率悪化にみられる倒産原因の考察

- (1)経常収支比率の仕組みと見方に付いて
- (2)経常収支を計算してみよう（ワーク）
- (3)経常収支比率の悪化要因を勘定科目で探ってみよう

4. 経常収支比率からみた資金繰りの改善方法

- (1)売掛債権の滞留と対処方法について
- (2)在庫管理とは…「在庫管理」において誰が何を管理するのか
- (3)原価計算プロセスにみられる滞留在庫のからくり
- (4)経常収支改善のための在庫管理手法

5. 健全な資金繰り体制を構築するために

- (1)営業、投資、財務 3つのキャッシュフローの評価について
- (2)年間借入返済額からみる年間調達計画について
- (3)財務諸表、諸比率の変化における資金繰り悪化兆候
- (4)資金繰りが危険水域に近づいた際の対応
- (5)健全な財務体質構築を目指すためにすべきこと

※電卓をご持参ください。

受講方法

本セミナーは、『会場受講』大阪（アットビジネスセンター心斎橋駅前）開催です。

「セミナー（会場受講）のご案内」をご持参の上、セミナー当日、開催時間までに「アットビジネスセンター心斎橋駅前」にお越しください。
大阪府大阪市中央区南船場4-4-21 TODA BUILDING心斎橋(旧りそな船場ビル)6F
(Osaka Metro御堂筋線「心斎橋駅」、Osaka Metro四つ橋線「四ツ橋駅」)
※昼食ならびに無料駐車場のご用意はございません。

受講料

※「入会特典」・「継続特典」をご使用の際は、ホームページのセミナーお申込みフォームの通信欄に「〇〇年度入会（または継続）特典利用希望」とご入力ください。

会員 23,100円

* 参加者1名様、消費税等、テキスト・資料代を含む

一般 30,800円

* 「入会特典」・「継続特典」・「優待サービス」をご利用いただけます。

会員の方：入会時にご選択いただきました「口座振替」あるいは「お振込み」のいずれかのお支払い方法になります。

一般の方：振込先について事務局よりご連絡いたします。セミナー開催4営業日前までにお振込みください。

* キャンセルはセミナー開催2営業日前の17時までにご連絡ください。それ以降のキャンセルは、受講料の全額をいただきます。

なお、参加申込みが催行可能人数に満たない場合や講師の病気、天災等により、開催を中止させていただく場合がございます。

お申込みは、当社HPよりお願いいたします。 <https://www.rri.co.jp/seminar/>

りそな総研セミナー

検索

お問合せ先

りそな総合研究所 研修セミナー部（大阪） ☎06-6258-8806 ✉edu-osk@rri.co.jp